

# 雑誌『主婦の友—廃物利用五百種—』から見える統制下の家庭生活像

Family life in the wartime assessed from a magazine,  
“the friend of housewives—500examples of remaking—”

夫馬佳代子・田島彰子・杉原利治

Kayoko Fuma, Syouko Tazima and Tosiharu Sugihara

キーワード：主婦の友・廃物利用・統制下の生活

## 1. はじめに

現在、地球温暖化をはじめとして、資源・環境問題を解決し、持続可能な社会を構築することが急務であり、二酸化炭素の排出削減、廃棄物の減量など、資源・エネルギー消費の抑制が強く求められている。そのためには、社会経済体制の変革とともに、日常生活レベルでのライフスタイルの変更が必要である。しかしながら、有効な方法論はいまだ見出されてはいない。1970年代のオイルショック時にも、省エネが叫ばれ、TVの深夜放送中止などの措置がとられたが、石油危機が緩和するとともに、消費や生産を再考しようとする社会的雰囲気は消えてしまった。

遡れば、1930年代後半の日本も、同様の社会状況にあったといえる。しかし、戦時統制下、節約と合理的な生活が喧伝されたこの時代に、人々は、自ら、様々な創意工夫を重ねたのである。

本論文では、その一例として、雑誌『主婦の友』と付録冊子とりあげ、分析することにより、廃物の再利用を試みた当時の庶民の知恵をさぐりながら、現代に生きる私たちの課題を解決する手がかりを得たいと思う。なぜなら、自発的行為であるモノづくりは、人々に、あそびや楽しみのみならず、充実感や知的刺激などをあたえ、その結果、節約、再利用など日常活動の継続を可能にすると考えられるからである。

## 2. 雑誌『主婦の友』の特質

本研究は、昭和13年7月に発行された、雑誌『主婦の友』<sup>1)</sup> 附録『主婦の友—廃物利用五百種—』<sup>2)</sup>を通して、当時の緊迫化した統制下での一般の家庭生活像、主婦像を明らかにしようと試みたものであるが、ここではまず研究対象である雑誌『主婦の友』の特質について述べていきたい。

雑誌『主婦の友』は、大正6年3月1日に石川武美を発行人とし東京家政研究会<sup>3)</sup>から発行されたものである。この雑誌は、大正6年以後定期的に毎月1回の頻度で発行され、今日の主婦の友社に引き継がれた、大正・昭和・平成の90年以上に渡る長期的に発行された婦人、特に主婦を対象とした雑誌である。<sup>4)</sup>

主催の石川武美に関しては、『主婦の友 大正期総目次』<sup>5)</sup> (石川文化事業財団 お茶の水図書館編 2006年2月14日発行) に次のように紹介されている。大正5年9月、石川氏28歳の時、小さな借家に「東京家政研究会」の看板を



資料1 本の表紙

掲げ、今日の主婦の友社を創業したとされる。石川の最初の出版物は『貯金の出来る生活法』<sup>6)</sup>『実験千種・手軽でうまい経済料理』<sup>7)</sup>であったが、こうした視点は今日まで雑誌『主婦の友』に貫かれている視点である。発刊当時、夫人向け雑誌としては「婦人画報」「婦人世界」「婦女界」「淑女画報」等が発行されていたが、こうした中で『主婦の友』の雑誌名は読者の層を限定しているとの批判も多く見られたという。しかし、石川武美は「家庭生活を営む婦人、つまり主婦にこそ役立つ知識と、知恵を届けたいと願い一中略一家庭の幸福と女性の地位向上を願うことが、その出版の理念でした」<sup>8)</sup>と記されるように家庭生活を運営する一般家庭婦人に絞り目を向けたわけである。

この雑誌の特質は、第1巻第1号の記事内容からも明らかであるが、当時の婦人雑誌に見られる発行者の「発刊の趣旨」は記載されず、理想とする主婦像を描く記事から始まる点である。

掲載記事は大別すると5つに分類することができる。まず第1が第1巻第1号の巻頭記事でもある「私の感心した独逸の主婦気質」等、当時の時代が理想とした、推奨した主婦のあるべき姿が掲載される点である。第2は当時理想とされた家庭生活像や家庭運営術を紹介する記事が多く見られる点である。こうした記事は例えば「十五人家内の主婦としての日常」<sup>9)</sup>に見られるように、具体的な投稿記事で構成される点が特質である。第3は、家庭運営にも関る家庭経済に関する記事が多いことである。「共稼で月収三十三円の新家庭」「六十五円で六人家内の生活法」「月収八十五円の医学士の家計」<sup>10)</sup>等、具体的な家計記事が掲載される。また、これらの記事からも明らかなように一般的な勤労家庭の主婦層を対象とした雑誌であることが分かる。第4は、子どもの教育に関する記事が多く掲載される点が特質である。例えば「三人の子供を博士とした未亡人の苦心」<sup>11)</sup>等子育ての成功例の紹介や娘の教育・結婚に関する内容が多く取り上げられている。第5の特質は生活の知恵に関する記事が多い点である。「手軽な経済料理法」「主婦らしきお化粧法」「安価で建てた便利な家」<sup>12)</sup>等、衣食住から日常生活に関する生活の知恵が伝授されている。

以上の5つの記事内容の傾向以外に、主婦向けの読み物や懸賞募集記事が多く掲載される点も特質である。特に懸賞募集に関しては、「賞金一百円 主婦座右の銘を募る」から始まり、この後の巻でも経済料理や経済服の懸賞募集が頻繁に掲載され、読者である主婦の積極的な参加で構成される雑誌ともいえよう。巻末には、継続的な〔懸賞募集問題〕が掲載され、具体的に挙げられたジャンルとしては「主婦座右の銘」「家計の実験」「主婦重宝記」「奥様美談」「新作子守唄」「笑ひばなし」「判じ絵もの」であり、原稿文字数や期限の設定が記載される。投書には氏名・住所を明記するよう指示されている。本研究で研究対象とした昭和13年7月号の附録『主婦の友—廃物利用五百種』もこうした読者からの投稿記事をもとに構成したものと思われる。<sup>13)</sup>

これらの傾向を総じて見ると、雑誌『主婦の友』は、勤労世帯の一般主婦向けの時代に即応した生活運営に関する啓蒙雑誌であり、読者の参加型雑誌と捉えることもできよう。

次に、上記の昭和13年7月号の附録『主婦の友—廃物利用五百種』が発行された時代背景についても触れておきたい。

### 3. 『主婦の友—廃物利用五百種—』が発行された時代背景

『主婦の友—廃物利用五百種—』が発行された昭和13年（1938年）前後の時代背景について概観しておきたい。

この時代は、1941年から1945年の太平洋戦争が始まる前の戦時に向かう緊迫化した世相の時代と表現することができよう。『主婦の友—廃物利用五百種—』が発行された1938年は「国家総動員法」が公布された年であり、翌年には「国民徴用令」や「賃金統制令」がひかれる。さらに1940年には「隣組制度」が定められ、1941年には「米穀配給通帳制」が始まり、この年に太平洋戦争が始まるわけである。

1938年の「国家総動員法」は、昭和13年4月1日（法律第55号）に第1次近衛内閣により制定された法律（昭和13年公布、同5月5日施行、国家総動員法及戦時緊急措置法廃止法律 昭和20年法律第44号により昭和21年4月1日廃止）であるが、「第1条 本法ニ於テ国家総動員トハ戦時ニ際シ国防目的達成ノ為国ノ全カラ最モ有効ニ發揮セシムル様人的及物的資源ヲ統制運用スルヲ謂フ」と定められ政府が人と物資を統制運用できるとした戦時統制経済を目的としたものである。具体的内容では「第二条 二 国家総動員上必要ナル被服、食料、飲料及飼料」と定められ、まさしく家庭経済そのものが統制下に置かれた状況になったわけである。雑誌『主婦の友』においても、この年代の巻頭には「統制下の家庭生活」という表現が多く用いられたことから、この状況が主婦に危機感を与え、その対処が一大関心事であったことが推測される。

まさしく1938年7月発行の『主婦の友—廃物利用五百種—』は、こうした緊迫化した世相の中で、如何にして家庭生活を守り抜くかという主婦の生き方伝授本でもあったわけである。

#### 4. 昭和13年前後の『主婦の友』の記事内容の傾向

昭和13年（1938年）の前後辺りから、前述した「国家総動員法」の統制下を意識した記事が『主婦の友』の雑誌誌上にも見られる。そこで、ここでは昭和11年（1936年）の二・二六事件や満州開拓団の開始を背景とした家庭生活から昭和16年（1941年）米穀配給通帳制、太平洋戦争開始までの時代を対象とし、統制下での家庭生活の実態とその時代を生き抜く主婦の姿を捉えることとした。

この間の雑誌の掲載記事は大別すると、①統制下における理想とする家庭像、② 統制下における理想とする主婦像、③統制下における子育て論（国家と子ども）、④統制下における家庭経済の運営の4つの傾向が見られる。ここでは、この4つの視点で統制下の家庭生活がどのように描かれ、またこの時代を生き抜く主婦としての対処法を捉えていきたい。

##### （1）統制下における理想とする家庭像

統制下における理想の家庭生活像に関しては、どの巻にも少なからず触れられているが、実際の実例、つまり理想とする家族のモデル像を紹介しながら啓蒙していく点がこの時代の特色として見られる。例えば「新総理大臣となった子としての林大将の家庭生活」<sup>14)</sup>では、その夫人の林初治氏の立場から、大臣の母を称える内容や国家のお役に立たねばとする家族の心意気が記されている。このような高位や著名人の理想とする家庭像を紹介する記事は多く見られる。

また、国家総動員が発令される前年には、緊迫化した生活状況を反映して、具体的な家庭生活防衛作とでもいえるような生活対処法に関する記事が多く見られる。「物価騰貴と月給生活者の家庭経済の上手な執り方」<sup>15)</sup>では、<今こそお台所を預る奥様方の腕の揮い時 — これだけの心構えさへあれば家庭の経済は大磐石>と銘打って、【襲ひ来る物価暴騰の嵐】への対応策が示されている。ここでは、特に物と時間を生かす方法など合理的な生活意識と家庭生活全般に対する節約の意識を育てることに終始している。当時中流家庭では、住み込みの家事手伝いの人を抱える家庭も存在していたわけであるが【女中なしの生活が経済の根本】とする、新たな中流低婦人像を提唱している。他項目でも述べるが、家庭生活を全て一人で担える逞しい主婦像が求められてきたわけである。またこうした新たな家庭生活像の提唱は家屋の構造からも垣間見られ、「新興中流模範住宅」<sup>16)</sup>では、女中室を設けてはいるものの、【非常時が生んだ理想の日本住宅】として中間層の合理的な生活像を住まいの点からも提唱しているのである。

新中間層の生活の合理化は、「生活改善」という具体的な対処法を示すようにもなる。例えば「一家揃って生活改善を実行する塩野司法大臣の家庭座談会」<sup>17)</sup>では、「国民精神総動員の実行が叫ばれておりますが、閣下のお宅では特にご実行の点を」との間に、夫人が政府奨励の胚芽米を賞賛するなど、

具体的な生活対処法やその理想とする精神を述べている。同様の傾向は「女中なしで働く大家内の奥様の家事の上手な切り回し方の総動員で働く非常時の模範家庭」<sup>18)</sup>のタイトルに象徴されるように、合理的な朝食準備、洗濯方法などが示され【一家が総動員で、手分けして働くことが、一番能率の挙る働き方】と、従来の生活の捉え方を改善する必要を説いている。この【女中なし】という表現は、これ以後も頻繁に用いられる。「子ども7人で女中なし—事変下の主婦の能率生活の工夫」<sup>19)</sup>等にも見られるように、子どもが協力して家庭を創る必要性と能率生活の鍵と称し、家事労働の合理化と見直を提案している。

一方では、こうした生活状況の中でも、家庭のあり方として【家庭の和楽】を説いている。つまり経済、物資上は逼迫していても【家庭生活の潤い】【家中で楽しい生活】は家庭を築く上で不可欠であることを強調しているのである。

しかし、時代が戦時に向かうにつれ、こうした国家総動員という考え方は、当時の政局下における【模範家庭】という表現で雑誌の中でも頻繁に紹介されるようになり、1939年には宮中もその模範家庭の対象となる。「国民の御模範と仰ぐ事変下の宮中の御質素なる御生活」<sup>20)</sup>として「戦時体制下において、しきりに国民精神総動員が叫ばれ、清貧節約の声が高まっておりますけれど」として、宮中の皇后両陛下が衣食住に関し、以下に清貧を貫き、「代用品に走り過ぎて」究極の節約に努めているかを強調している。このような国民精神の昂揚と、質素を基とした模範家庭の紹介が、この時代の記事の特質といえよう。

## (2) 統制下における理想とする主婦像

理想とする主婦像は、前述の理想とする家庭生活像と重なるが、統制下で求められた主婦像は生活管理能力とそれに関する知識を持ち、ある意味で経済的自立を目指す女性であったといえる。経済的自立については、後述する家庭経済の運営で詳細を述べるが、夫に養われ姑に仕える女性像では、統制下の逼迫した生活状況に対応することができないことは明白であり、現在の状況にも適応でき、奮起できるという新たな主婦像を求めていたことが分かる。

前述したように『主婦の友』は一般的な勤労者世帯の主婦を対象としているが「80円以下の月給生活者の家計の苦心を語る若奥様方の座談会」<sup>21)</sup>では、大妻高等女学校校長の大妻コタカ先生を司会者とし、主婦としての心構えから家計の対応、生活の工夫、さらに貯金で中古の家を買う等、主婦が主体的に生活を創り上げる必要性を説く。また前項でも触れたように、貧しくとも心豊かにが標語として紹介され、それが統制下という殺伐とした時代に主婦に求められた家庭運営の一要素でもあったといえる。このような強く逞しい主婦像は「生活戦線に奮闘する未亡人の雄々しき体験」<sup>22)</sup>等にもみられ、女行商人となった夫人の苦闘物語等が紹介される。同様の俸給者の妻から働く夫人へという表現は多く見られる。

さらに時代が戦時に近づくと、「戦争が起こったら婦人は何をなすべきか—一触即発の危機に備える非常時座談会」<sup>23)</sup>として空襲の対応や生活の防衛が語られ「爆弾から家を婦人だ」「強い母は最善の武器」という表現が強調して用いられるようになるのである。さらに「世界大戦の惨禍を越えてきた独仏英大使夫人の祖国愛—友邦日本の婦人に捧ぐ尊い銃後の体験」<sup>24)</sup>、「世界大戦に男子に代わって働いた独逸婦人の愛国苦闘の体験」<sup>25)</sup>等、海外の戦時における婦人の活躍を紹介し、銃後の婦人としてのあるべき姿を説くようになる。具体的な銃後の婦人の対応策を示し始め「空襲を防ぐ一家総動員の実演」<sup>26)</sup>では平素の心掛けから、警戒警報発令後の具体的な対処法を示すようになる。

主婦の友社長の石川氏は「銃後の国民は何を力に生くべきか」<sup>27)</sup>と題する座談会を自ら起こし、誌面に掲載している。こうしたことから、銃後を守る主婦像を育てることが当時の緊急課題であったことが分かる。

### (3) 統制下における子育て論 (国家と子ども)

『主婦の友』では、統制下における子育て論も積極的に展開されているが、人間としての愛情を注ぐ子育て、しつけの重要性、国家を支える子どもという視点が多く見られる。

「国民学校とこれからの家庭教育を語る 先生とお母様の懇談会」<sup>28)</sup>では、家庭科教育の道場、躰は親の責任などを説きながらも「国民学校の根本精神は、今までのように単に立派な人、偉い人を作るのではなく、皇運を扶翼し奉る立派な日本国民を作るということになります」と国家を意識した子育てが説かれていく。「家庭の国民教育 国体観念の教育」<sup>29)</sup>では、「何事も国家中心に考えて忠孝の実践を徹底させること」が強調されるのである。

しかし、一方で統制下であったも、子どもへの慈愛や、人間としての躰の重要性を説いた記事も多く見られる点を付記しておこう。

### (4) 統制下における家庭経済の運営

この時代は、雑誌『主婦の友』において、家庭経済の運営や生活対処法に関して記された記事が圧倒的に多くみられるのが特徴である。石川武美は、一般の家庭の主婦に新たな合理的生活を伝授することを目的としていたが、毎号創意・工夫に満ちた生活の智慧が統制下ではさらに拡大され、具体的に記されたのが特徴である。

本雑誌に見られる統制下における家庭経済の運営の特徴は①衣食住に関する「節約」精神の伝授、②衣食住に関する「創意・工夫」の薦め、③家庭経済の運営能力—経済的知識・利殖・貯蓄、④主婦の経済的自立—内職・副業の奨励・賞賛、等の4つに分類することができる。

しかし、各内容の共通点は多く、特に統制下での「節約」は「代用品」という表現にも繋がり、多分に「創意・工夫」の要素を持っているのが特徴である。

本研究で研究対象とした昭和13年7月号の附録『主婦の友—廃物利用五百種—』も内容的には、「廃品」を「節約」の精神で「再生」し、或いは「代用品」として「再生」したものが多く、そこには多くの主婦達の物資不足にも負けない逞しい生活力、「創意・工夫」する力が見られる。

なお、主婦の家庭生活運営能力に関する具体的な雑誌記事の内容については別稿で述べていきたい。

## 5. 『主婦の友—廃物利用五百種—』で扱われた「廃物」と「再生品」

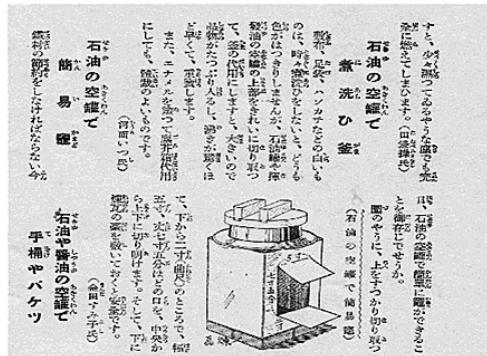
資料1は、本研究の分析対象とした『主婦の友—廃物利用五百種—』の表紙や口絵の作品の実例を示したものである。資料2は、廃物利用の実例の一部の記事を抜粋し、その分析の視点を示したものである。

このような視点で『主婦の友—廃物利用五百種—』に記載された462種に及ぶ廃物利用の実例案を表に示したものが資料3である。資料3は、資料2に示したように「記事タイトル」「記事内容の概要」「対象とした廃品」「廃品を再生させるために用いた物」「再生させるのに用いた技能」「再生の目的」「再生品の紹介」「再生品の利点と評価」「生活分野」の9点に着目して分類したものである。

資料3をもとに、当時の廃品から再生品を生み出す、一般家庭婦人の創意・工夫力と生きるための逞しさや遊び心を見ていこう。

#### 〈分析方法〉

「主婦の友—廃物利用五百種—」の全462種の  
①タイトル、②概要、③廃品、④廃品以外に用いるもの、⑤用いられ技術、⑥再生品が作られた目的、⑦作られた再生品、⑧作ってみたいの利点や評価、⑨衣食住どの分野にあたるか、⑩著者名をまとめた。



資料2 分析方法

### (1) 「廃物」と「再生品」から見える生活像

まず、資料3から統制下の生活で「廃物」として何が挙げられたのかを見ていきたい。「廃物」として挙げられた生活用品はおそらくは日常的に用いられるものであり、代用品として用い易いものと思われる。また、「再生品」とは、その当時、日常生活において必要とされていたものと捉えることができる。

つまり『主婦の友—廃物利用五百種』に取り上げられた462種の主婦たちの発案から、何が生活の中で「廃品」として捉えられ、そして何が「再生品」として求められたのかを探ることにより、当時の生活に求められた価値観を明らかにできるといえよう。

#### ① 「モノ」に関する内容

最も多く見られるのが「缶」である。「石油の空缶で染物蒸し器」「石油の空缶で煮洗い釜」「油の空き缶で家庭カンテラ」「鮭の空き缶で半熟玉子鍋」等、いわゆる「代用品」として「再生」されたものが多い傾向が見られる。

具体的に廃品として取り上げられた「石油の空き缶」からの再生品を見ていくと上記で挙げた「染物蒸し器」をはじめ「塵燃窯」「白物の煮洗い釜」「簡易窯」「バケツ」「おむつ干器」「米櫃・乾物入れ」「子供用便器」「油漉器」「流しの屑入れ」「家庭カンテラ」「安全火消し器」「蠟燭立」「半熟玉子鍋」「灯火管制用電灯カバー」「ガス火おこし」「洗濯用石鹼入れ」「鋳焼器」「塵取」「摩登状差」「筆立」「火おこしの煙突」「ドーナツの抜型」「昆虫採集の毒壺」「海苔の乾燥器」「羊羹の型」「小石いれ文鎮」「歯ブラシ入れ」「お燈明壺」など実用的なものから、一方で、「毛糸再生器」「面白い虫籠」など遊び心が見られるものもある。

「空瓶」になるとその特性を生かした再生品が見られ「筆立」「麵棒」「野菜の保存」「徳利の代用」「安全な針刺」「インクスタンド」「胡麻塩入れ」(ポマード瓶の代用)「卓上調味料入れ」「アルコールランプ」(インク瓶の代用)などの実用的なものから、趣味的なものとし「趣味の花瓶」「花壇の縁取り」「趣味の一輪挿」「おしゃれなエッグカップ」「苗に被せる保護器」などが考案される。

さらに「古傘」となると、その再生品の発想はビニール部分の活用から傘骨部分の活用法まで、発想は多様化する。例えば、「古傘の生地」からの再生品としては「赤ちゃん蒲団」「洋服裏地」「剥ぎ合せて帯」「炊事用前掛」「洋服カバー」「散髪掛」などが発案され、「傘の骨部分」では「小物干し」が考案されるのである。

このように「廃品」として挙げられるのは「ビスケットの空き缶」「クリーム of 空き瓶」「古洋傘」「古カンカン帽」「古葉書」「新聞紙」「菓子箱」「割り箸」などの生活日常品であり、これをもとに考案された「再生品」は当時の生活状況を反映した物資不足から来る代用品が中心となっている。しかし、統制下の家庭生活ではあるものの、趣味や楽しみの範疇に含まれる「再生品」も考案されているのが特徴として見られる。

一方で、『主婦の友—廃物利用五百種』で紹介される「食に関する内容」や「衣に関する内容」には、1938年当時の逼迫しつつある経済情勢を反映した内容が多く見られる。こうした傾向は衣服よりも当然ながら食料に見られる。

#### ② 「食」に関する内容

「食に関する内容」において、例えば蜜柑の活用を見ると、【蜜柑の皮】という廃物であっても、さまざまな生活の視点が見られる。例えば、「蜜柑の皮をトンカツの衣に」「蜜柑の皮を佃煮に」「蜜柑の皮を食卓の友に」など代用食としての色合いの濃いものから、「蜜柑の皮を髪洗いに」等生活の智慧に繋がる内容、さらに「蜜柑の皮をジャムに」等、今日の生活にも通じる内容も見られる。

しかし、世相を反映して圧倒的に多いのが、代用食としての役割である。「柿の皮を沢庵漬けに」「バナナの皮をジャムに」「胡瓜の皮を佃煮に」などこうした傾向は多くの食料に見られる。

食べ物を食べるのみでなく、生活の中でモノとして活用する代用品の事例も見られる。例えば「桃

の種で趣味の帯留」「夏蜜柑の皮で趣味の花瓶敷き」「茶殻で蚊取り」「魚の骨を楊枝に」等である。

### ③「衣」に関する内容

「衣」に関する内容は、外観すると、代用品としての再生品と、趣味としての再生品に大別でき、大方が代用品である点が特徴といえよう。

代用品としての事例では、例えば「婦人用古靴下でベルト」「婦人用古靴下で乳カバー」「男物古靴下で子供用ソックス」「古ネクタイで婦人用ベルト」等、多数見られる。

一方で、趣味の創作的要素のあるものとしては「婦人用古靴下でぬいぐるみ人形」「婦人用古靴下で壁掛けや敷物」「女学生用古靴下でバスケット」等、従来の廃品を趣味や装飾物として再生している。

さらに、この当時、生活改善が奨励され、その一環として従来の衣服を改良したり新たな衣服を考案することも試みられたが、このような考案服の事例も多く見られる。例えば「古ワイシャツで男子用パンツ」「古ワイシャツでベビー服」「古毛布で寝冷え知らず」「古毛布で防寒用ショール」等である。

こうした用途以外にも、僅かな残り布でも活用する事例「裁ち屑を貼り絵に」、「残り小布で羽織の紐」等が見られる。さらに掃除用具として活用する事例「洋服の古布で携帯用靴拭き」等が見られる。

こうした廃品の活用を外観すると、確かに物資不足を反映した布という被服材料の徹底した活用が見られるが、一方で、前述したような緊迫した政治情勢にも拘らず、自由な創意・工夫や趣味を楽しむ心も垣間見え、当時の主婦が必ずしも「節約」のみに終始した生活を作り上げているのではないことが伺われる。

## (2) 廃物利用の「発想」と「目的」「評価」

次に、廃物利用の「発想」とその「目的」や「自分の評価」についてみていきたい。

先に事例としてあげた「石油の空缶で染物蒸し器」では、缶の上部を切り取り染物蒸し器の代用品を作ったものであるが、その再生品を提案・製作者である本人は「能率的」になり「重宝」であると満足していることが記事から伺われる。同様に、「石油の空缶で煮洗い釜」でも「能率的」「重宝」なる自己評価が見られる。

一方で、同じ缶を廃品として活用しながらも「ビスケットの空き缶で塵取り」では、代用品を考案することにより「丈夫で長持ち」な塵取りができたと言及し提案・製作者は捉えている。また「ビスケットの空き缶でモダン状差」は、代用品と趣味を兼ねたものと思われるが、本人は「お洒落」なものもできたと言及している。また、「ビスケットの空き缶で可愛い筆立て」は、代用品であり、趣味的なものでもあり、本人は「可愛い」ものもできたと言及している。

上記のように、提案・製作者は、「廃品」を「再生」したことにより、どのような自己評価、或いは自己満足をしているかを見ていきたい。これにより、社会情勢が統制下であっても、現実的には主婦が如何なる生活観を求めていたのかを探っていきたい。

まず、資料3に記載した再生品の利点（評価）の欄を見ると、「物」の廃品・再生に関しては「能率的」「重宝」「節約」「長持ち」「安全」「便利」「丈夫」「合理的」等の統制下の物資節約精神を反映した自己評価が多く見られるが、一方で「お洒落」「可愛い」「風流」「体裁よい」「立派」「面白い」「美術的」「快適」「しぶい」「楽しみ」「優美」「見事」等、逼迫した経済情勢とは全く異なる視点での、個人として、人間としての満足度を満たす評価も見られるのである。

「食」に関する評価も同様の視点で見たい。当然ながら「合理的」「便利」「重宝」「節約」の表現が多く見られるものの、全項で述べたように「代用食」「節約料理」を目的としているにも拘らず、圧倒的に多く見られる自己評価は「美味しい」「食が進む」「風味よい」「喜ばれる」「あっさりしている」「大好物」「香ばしい」等の人間らしい感覚に関する表現である。つまり、社会的状況では究

極の節約を求めながらも、生活そのものに対しては、統制下であっても人間らしい感覚で生活を楽しむという要素が『主婦の友—廃物利用五百種』から伺うことが出来る。

「衣」に関する項目も、同様に廃品を代用衣料として再生することが目的であるが、「便利」「節約」「重宝」「合理的」等の節約精神を反映した自己評価が見られるものの、一方で「お洒落」「可愛い」「立派」「はきごちが良い」「綺麗」「体裁よい」「面白い」等の表現が見られ、人間らしい感覚が表出している。

このような製作者・考案者から見られる、統制下における「主婦像」について最後に考えていきたい。

## 6. 『主婦の友—廃物利用五百種—』から見えてくる「統制下」を生き抜く「主婦像」

### (1) 現実への対処能力

雑誌『主婦の友』の昭和11年から15年にかけての雑誌掲載記事に関し既に紹介したが、戦時に向かい主婦の在るべき姿、国家が理想とする家庭生活像を「模範家庭」として頻繁に紹介される同時期に出版された『主婦の友—廃物利用五百種—』からは、国家の被害者としての主婦像ではなく、主体的に生活を自ら作り出そうとする主婦像が見えてくる。特に、現実への対処能力の高さが見られ、身近な如何なるものも「代用品」として「再生」させる、生活への逞しさが見られる点が特色である。

### (2) 創意工夫の力

また、『主婦の友—廃物利用五百種—』からは、無名の主婦たちの、衣食住の生活全般に渡る創意工夫の力が見られる点も特色である。前述した缶や瓶、古シャツ等でも、同一の「廃品」から多種多様な「再生品」を創り出している点から、当時の主婦が物資不足という経済状況を反映しながらも、自ら積極的に「代用品」の発案に取り組んでいたことが伺われる。

### (3) 生活を作り出す「発想の転換」

主婦の「発想の転換」は、衣食住の全ての項目で見られるが、「桃の種から帯留」「魚の骨から楊枝」のように、豊かな発想の転換で生活を創りだしているという特色が見られる。この当時雑誌『主婦の友』誌上でも、懸賞募集として新たな衣服の考案や美味しい経済（節約）料理の考案、節約精神を生かす生活の智恵等に関する応募が掲載され、雑誌誌上で当選案などが公開されてきたが、主婦が創り出す柔軟な発想は、緊迫した社会情勢から求められた結果の改善ではあるものの、生活の中から自立的に生まれた自由な発想という側面も見られる。

### (4) 精神的な「ゆとり」「遊び心」「豊かさ」

最後に『主婦の友—廃物利用五百種—』から見られる要素は、精神的な「ゆとり」「遊び心」「豊かさ」である。既に考案者の自己評価に関する項目でも述べたが、廃品から再生品を作り出した後、その再生品に関する自己評価が再生品の利点という表現で各記事に記載されているが、統制下を反映した合理性の追求や節約の精神が見られる一方で、人間らしい感覚や感情を表出させた評価も多く見られる。このことは、家庭生活の運営は経済性の追求や合理性の追求のみで語ることができず、例えその追求が「模範家庭」として語られようとも、人間は自分らしい感情や感覚は実際の家庭生活を営む上では、欠くことの出来ぬ要素として存在していたことが伺われる。



資料3 生活の創造（主婦の発案）「主婦の友—廃物利用五百種—」

タイトル	概要	目的	再生品	利点（評価）
石油の空缶で染物蒸し器	石油の空缶を染物をするときの蒸し器の囲いに利用	合理的	染物蒸し器	能率的・重宝
石油の空缶で塵燃竈	石油の空缶を塵燃竈に利用	合理的	塵燃竈	安全・重宝
石油の空缶で煮洗い釜	石油の空缶を白いものを煮洗いする釜に利用	合理的	煮洗い釜	能率的・重宝
石油の空缶で簡易竈	石油の空缶を竈に利用	節約	簡易竈	節約
石油や醤油の空缶で手提やバケツ	石油や醤油の空缶に手をつけバケツを考案	合理的	バケツ	重宝・長持ち
石油空缶でおむつ干器	石油の空缶に穴を空けおむつ干器を考案	節約・合理的	おむつ干し器	能率的・節約
醤油の空缶で米櫃や乾物入れ	醤油の空缶を米櫃や乾物入れに利用	代用	米櫃や乾物入れ等	重宝
醤油の空缶で子供用便器	醤油の空缶で子供用便器を考案	代用	子供用便器	長持ち
油の空缶で油漉器	油の空缶で茶漉で油漉器を考案	節約	油漉器	節約
油の空缶で流しの屑入れ	油の空缶に穴を空け台所の流しの屑入れを考案	合理的	流しの屑入れ	重宝・長持ち
油の空缶で家庭カンテラ	油の空缶の下に釘を打ち付け家庭カンテラを考案	代用	家庭カンテラ	美術的
缶詰の空缶で安全火消し器	火の上に果物の空缶をかぶせて火鉢の残り火の始末に利用	代用	火消し器	節約・安全・能率的
缶詰の空缶で趣味の蠟燭立	缶詰の空缶で色々な形の蠟燭立を考案	代用・趣味	蠟燭立	美術的
鮭の空缶で半熟玉子鍋	鮭の空缶を半熟玉子の調理に利用	代用	半熟玉子鍋	重宝
缶詰の空缶で灯火管制用電灯カバー	空缶の蓋を切り離さず電灯カバーに利用	合理的	灯火管制用電灯カバー	重宝
鮭の空缶でガス火おこし	鮭の空缶の底に穴をあけガス火おこしに利用	節約・合理的	瓦斯火おこし	節約・能率的
鮭の空缶で洗濯用石鹸入れ	鮭の空缶の底に穴をあけ洗濯用石鹸入れに考案	合理的	洗濯用石鹸入れ	重宝
菓子の空缶で鋳造器	菓子の空缶を鋳造器に利用	節約・合理的	鋳造器	重宝・節約
ビスケットの空缶で塵取	ビスケットの空缶を切り取り紐をつけて塵取に考案	代用	塵取	長持ち
ビスケットの空缶でモダン状差	ビスケットの蓋を切り取り好みの小布をつけて状差に考案	代用・趣味	状差	お洒落
ココアの空缶で可愛い筆立	ココアの空缶に好みの干代紙か布を貼り付けて筆立てに考案	代用・趣味	筆立	可愛い
海苔の空缶で便利火おこし	火種の上に海苔の空缶を煙突代わりに載せ、火おこしの煙突に代用	代用	火おこし	能率的
海苔の空缶でドーナツの抜型	海苔の空缶を切り組み合わせて、ドーナツの抜型に考案	節約・代用	ドーナツの抜型	節約・重宝
海苔や茶筒の空缶で昆虫採集の毒壺	海苔の空缶に内底をつけ、昆虫採集の毒壺に考案	代用	昆虫採集の毒壺	結構
海苔や茶筒の空缶で簡易乾燥機	蓋のある空缶に内底をつけ、木炭を敷いて海苔の乾燥器に考案	代用	簡易乾燥器	重宝
海苔の角型の空缶で料理用流し箱	海苔の角型の空缶を水羊羹の型に利用	代用	料理用流し箱	重宝・能率的
薬用空缶で子供用文鎮	菓などが入っていた小さな空缶に小石か砂を詰め、文鎮に考案	代用・趣味	子供用文鎮	体裁よい
味の素の空缶で歯ブラシと歯磨き入れ	味の素の空缶を洗面所の柱に釘で打ちつけて歯ブラシ入れに利用	代用	歯磨き入れ	重宝
歯磨きの空缶でお燈明臺	歯磨きの丸い空缶に釘を打ち出しお燈明臺を考案	代用	お燈明臺	重宝
粉ミルクの空缶で毛糸再生器	粉ミルクの空缶に毛糸の太さの穴をあけ、毛糸再生機に考案	代用	毛糸再生器	重宝
空缶で面白い虫籠	空缶の蓋と底を切りとり、両端に布を被せゴムでとめ虫籠に考案	代用	虫籠	面白い
海苔の佃煮の空缶で趣味の花瓶	海苔の佃煮の空缶に雑誌などの口絵色刷りの部分を貼り花瓶に考案	趣味	花瓶	美術的
ラッキョウや梅干の空缶で花瓶や筆立て	空缶に干草系やセロファン系を巻きつけ花瓶や筆立てに考案	代用	花瓶、筆立て	お洒落
ソースの空缶を麵棒代わりに	ソースの空缶をお菓子作りの麵棒に考案	代用	麵棒	重宝
食塩の空缶を瓶詰用瓶	食塩の空缶を野菜の瓶詰め用の瓶に利用	代用	瓶詰め用の瓶	重宝
ケチャップの空缶で花壇の縁取り	ケチャップの瓶を花壇周囲に埋め、趣のある縁取りに考案	代用・趣味	花壇の縁取り	お洒落
汽車弁の茶瓶をソース瓶や徳利代用	汽車弁の茶瓶をソース瓶や徳利代用	代用	ソース瓶や徳利代用	風流
化粧水の空缶で趣味の一輪挿	化粧水や水白粉の瓶などに飾りをつけてエキゾチックな一輪挿しに考案	代用・趣味	一輪挿	エキゾチック
クリムの空缶で安全な針刺	ボマードやクリムの空缶に布を押し込んで手軽で安全な針刺しに考案	代用	針刺し	安全
クリーム空缶でエッグカップ	クリーム空缶の首をリボンで飾っておしゃれなエッグカップに考案	代用	エッグカップ	重宝・可愛い
クリーム空缶でインクスタンド	クリーム空缶とドロップの小缶でインクスタンドに考案	代用	インクスタンド	重宝
ボマードの空缶で胡麻塩入れ	ボマードの瓶をよく洗って胡麻塩入れに代用	代用	胡麻塩入れ	体裁よい・重宝
染料の空缶で卓上調味料入れ	染料の空缶で蓋に錐で穴をあけ調味料入れに代用	代用	調味料入れ	便利
ベンジンの空缶で苗の保護器	ベンジンの空缶の下部を切り取って苗に被せ保護器に考案	代用	苗の保護器	便利
目薬の空缶を旅行用のインキ壺に	目薬の空缶を旅行用のインキ壺に代用	代用	旅行用のインキ壺	便利
インキ瓶でアルコールランプ	インキ瓶に金具等を組み合わせてアルコールランプに考案	代用	アルコールランプ	立派
古洋傘で赤ちゃん蒲団	古い傘の生地を赤ちゃん蒲団を考案	代用・趣味	赤ちゃん蒲団	立派、面白い
古洋傘を洋服の裏地に	古い傘の生地を洋服の裏地にしたり、修繕用の生地を利用	代用	洋服の裏地	丈夫
古洋傘で接合帯	古い傘の生地を他の布と刺ぎ合わせ面白い帯に考案	代用・趣味	帯	面白い
古雨傘で炊事前掛	古い傘の生地を紐につけ炊事前掛に考案	代用	炊事前掛	重宝
古雨洋傘で洋服カヴァー	古い傘の生地を洋服カヴァーに利用	代用	洋服カヴァー	重宝
古雨洋傘で散髪掛	古い傘の生地を散髪掛に考案	代用	散髪掛	重宝・多用・長持ち
洋傘の骨で小物干	布を取り去った古い傘の骨で小物干を考案	合理的・代用	小物干	能率的・重宝
古いかんかん帽で便利な炭取	古いかんかん帽の帽体の部分で炭取に考案	代用	炭取	重宝
古かんかん帽で立派な屑籠	古いかんかん帽の帽体の部分で屑籠に考案	代用	屑籠	立派・体裁よい
古かんかん帽で置物台	古いかんかん帽の帽体の部分で置物台に考案	代用	置物台	風流
古かんかん帽で洒落た雲版	古いかんかん帽の大井や鐙の部分で切って重ねて雲版に考案	趣味	雲版	お洒落
古かんかん帽で土瓶敷	古いかんかん帽の鐙の部分を使って土瓶敷に考案	代用	土瓶敷	便利
古かんかん帽で写真掛	古いかんかん帽の鐙の部分を使って写真掛に考案	趣味	写真掛	美術的
古フェルト帽で子どもの上履き	古フェルト帽で子どもの上履きに考案	代用	上履	丈夫・重宝
古フェルト帽でベビー靴	古いフェルト帽をベビー靴に考案	代用	ベビー靴	可愛い・重宝
古フェルト帽で花瓶敷や時計敷	古いフェルト帽を切り飾って花瓶敷や時計敷に考案	代用・趣味	花瓶敷き、時計敷き	面白い
古フェルト帽で火鉢の敷物	古いフェルト帽をひも状に切ってとじ合わせ、火鉢の敷物に考案	代用・趣味	火鉢の敷物	面白い
古フェルト帽で腰紐、たすき、バンド、靴拭	古いフェルト帽をひも状に切って腰紐やたすきに考案	代用	たすき、バンド、靴拭	お洒落
古フェルト帽で伊達巻	古いフェルト帽をひも状に切って横糸に利用し伊達巻を考案	代用	伊達巻	重宝
古フェルト帽で足袋底や靴の中底	古いフェルト帽を足袋底や靴の中底に利用	代用	足袋底、靴の中底	温かい・丈夫
古フェルト帽で小銭入れ	古いフェルト帽を小銭入れに考案	代用・趣味	小銭入れ	お洒落
男のソフト帽で婦人用雨帽子	ソフトの古帽子を飾って婦人用雨帽子に考案	代用	婦人用雨帽子	お洒落・重宝
古い婦人夏帽子で流行ハンドバッグ	古い麦藁婦人帽子をハンドバッグに考案	代用・趣味	ハンドバッグ	お洒落
古靴でスリッパ	古靴を切り取ってスリッパに考案	代用	スリッパ	重宝・長持ち
古靴でスリッパ代用靴下カヴァー	古靴の甲の革でスリッパに利用	代用	靴下カヴァー	丈夫
古靴を風呂の薪代りに	古靴をお風呂の薪代りに利用	代用	風呂の薪	よく燃える
古いゴム長靴で爪皮	古いゴム長靴を爪皮に利用	代用	爪皮	丈夫・重宝
子ども古ゴム長靴で保温スリッパ	子ども用の古いゴム長靴を保温スリッパに考案	代用	保温スリッパ	お洒落
古葉書で小型アルバム	古葉書を台紙に利用して小型アルバムを考案	代用・趣味	アルバム	お洒落
古葉書を附木代わりに	古葉書を竈やお風呂の焚付の附木に利用	代用	附木	能率的・節約
古葉書で切抜き帳	古葉書を何枚か集めて切抜き帳に考案	代用	切抜き帳	便利
古葉書で靴べら	古葉書を重ねて靴べらに考案	代用	靴べら	節約
古葉書と古手紙で日本趣味の敷物	和紙の古手紙と古葉書で日本趣味の敷物を考案	代用	敷物	快適・渋い
古葉書を襖の破れ目の心に	古葉書を破れた襖を繕う心に利用	代用	襖のやぶれ目の心	重宝
古手紙を手習用半紙代りに	巻紙の古手紙をよく伸ばして手習用の半紙に利用	代用	半紙	節約
古手紙（封筒）を台所用メモに	古い手紙や封筒を台所用のメモに利用	代用	メモ	重宝
古手紙（洋箋）を計算用ノートに	洋箋を綴じてノートに利用	代用	計算用ノート	重宝
新聞紙と空瓶で風雅な花瓶	古新聞と墨汁と空瓶で花瓶に考案	代用	花瓶	重宝
新聞紙を真鍮磨きに	古新聞を真鍮磨き盤に利用	代用	真鍮磨き	重宝
新聞紙を革砥代用に	古新聞を折りたたんで革砥に利用	代用	革砥	重宝
新聞紙を着物の心紙に	古新聞を着物をたたむときの心紙に利用	代用	着物の心紙	重宝
新聞紙で丈夫な包紙	古新聞と手紙や反古で丈夫な包紙に考案	代用・合理的	包紙	丈夫・重宝
新聞紙を火種用に	古新聞を火種に利用	代用・合理的	火種	能率的

古雑誌の色刷り紙で子どもの玩具	古雑誌の色刷り紙と針金で子供の玩具に考案	代用・趣味	玩具	美術的
古雑誌の色刷り紙で花瓶敷	古雑誌の色刷り紙と針金で花瓶敷きに考案	代用・趣味	花瓶敷	美術的
古雑誌の色刷り紙で趣味の敷物	古雑誌を折り込んで花瓶敷きに考案	代用・趣味	敷物	お洒落・重宝
古雑誌の色刷り紙で洋服用バンド	古雑誌の色刷り紙を真田編にして洋服用バンドに考案	代用	洋服用バンド	お洒落
古雑誌で油拭き	古雑誌を台所に下げ油拭きし、その後さらに風呂の焚付に利用	代用	油拭き	重宝
古雑誌で長編小説	自分の好きな小説を切り抜いて長編小説集に考案	趣味	小説	立派
包装紙でテーブル敷	日本紙のような丈夫な包装紙を剥き合わせてテーブル敷に考案	代用	テーブル敷	美術的
包装紙で衣装莫産	丈夫な包装紙を剥き合わせ衣装莫産に考案	代用・節約	莫産	体裁よい・便利
包装紙で家庭莫産	包装紙を貼り合わせて家庭用の莫産に考案	代用	莫産	快適・重宝
包装紙で防空間紙カーテン	包装紙を貼り合わせて防空間紙カーテンに考案	代用	カーテン	重宝
包装紙で衣装たたう	包装紙を貼り合わせて着物の包み紙に考案	代用	たたう	重宝
包装紙で箆笥の虫よけ	包装紙を貼りあわせて箆笥の虫よけに考案	代用	虫よけ	重宝
包装紙で地図の表装	包装紙を地図の表層に利用	代用・合理的	地図の表装	重宝・体裁よい
包装紙で趣味の封筒	包装紙の綺麗なところを利用して趣味の封筒を考案	代用・趣味	封筒	お洒落・楽しみ
和菓子の包装紙で謡曲本の表紙	和菓子の包装紙を謡曲本の表紙に利用	代用・趣味	本の表紙	風雅
和菓子の包装紙で祝儀袋や月謝袋	和菓子の包装紙を祝儀袋や月謝袋に利用	代用・趣味	祝儀袋・月謝袋	上品・お洒落
和菓子の包装紙で楊枝挿	和菓子の包装紙で楊枝挿を考案	代用	楊枝挿	美しい
チョコレートの包み紙で趣味の手箱	チョコレートの包み紙と空箱で趣味の手箱を考案	代用・趣味	手箱	お洒落
古セロファン紙で障子の硝子代わりに	古セロファン紙を障子の硝子代わりに利用	合理的・節約・代用	障子の硝子	節約・合理的
古セロファン紙を額縁の硝子代わりに	皺のない古セロファン紙を額縁の硝子代わりに利用	代用	額縁の硝子	結構・便利
古セロファン紙で硝子や障子の繕い	古セロファン紙を硝子のひびや障子の破れ目の繕いに利用	代用	硝子や障子の繕い	重宝
古セロファン紙で新聞籠	古セロファン紙と針金で新聞籠を考案	趣味	新聞籠	便利・綺麗・面白い
古セロファン紙で子ども帽子	古セロファン紙とハトロン紙で子ども用の夏帽子に考案	趣味	帽子	お洒落
古セロファン紙を食料品包みに	古セロファン紙を野菜包みに利用	代用	食料品包み	重宝
古ハトロン紙で買物袋	古ハトロン紙を編んで買物袋に考案	代用	買物袋	面白い・重宝・長持ち
古ハトロン紙で細引代り	古ハトロン紙を三つ組にして細引きに利用	代用	細引き	丈夫
古ハトロン紙で蒸焼用包紙	古ハトロン紙を料理の蒸焼用包紙に利用	代用	虫よけ用包紙	重宝・美しい
写真の表紙でスタンドの笠	大きな体裁のよい写真の表紙をスタンドの笠に利用	代用	スタンドの笠	お洒落・頃合
写真の表紙で雑記帳のカヴァー	写真の表紙をそのまま雑記帳のカヴァーに利用	代用	雑記帳のカヴァー	体裁よい
写真の台紙で袖型や棲型	写真の台紙の小さいものを裁縫用の袖の丸味型や棲方に、大きいものを箆笥の下敷きに利用	代用	袖型や棲型	丈夫・重宝
写真の台紙で小型アルバム	写真の台紙で小型アルバムに考案	代用・趣味	アルバム	可愛い
写真の台紙と古のし子ども用状差	写真の台紙を飾って子ども用の状差に考案	趣味	状差	愛らしい
答案紙をノートに	子どもの答案紙に表紙をつけてノートに考案	代用	ノート	喜ばれる
プリントをノートに	プリントを集めてノートに考案	代用・節約	ノート	教育的
古ノートを切抜帳に	古ノートを新聞の切り抜きを貼るノートに利用	代用・節約	切抜帳	能率的・重宝・節約
ピラやチラシを附木代りに	ピラやチラシでこよりを作り附木に利用	合理的・代用	附木	重宝
ピラやチラシをメモや鍍拭いに	片面の白いものはメモに、両面刷りのものは鍍拭いに利用	代用	メモ、鍍拭い	合理的
ピラやチラシを練習用紙や櫛拭きに	ピラやチラシを練習用の紙にし、書いたあとは綴じて櫛拭きに利用	代用	練習用紙・櫛拭き	重宝
案内状や入場券を子ども部屋の襖紙に	案内状や入場券の可愛い絵を子ども部屋の襖紙に利用	合理的・代用	襖紙	合理的・お洒落
古画用紙で吸取紙	古画用紙で吸取紙を考案	代用	吸取紙・電報用紙	
古障子紙ではたき	古障子紙を古いはたきの柄につけてはたきに考案	合理的・代用	はたき	合理的
紙テープではたき	紙テープを棒の先にくりつけはたきに考案	代用	はたき	便利・長持ち
唄本の表紙で趣味の羽子板	古い唄本の表紙や雑誌の口絵の美人画などを羽子板の押絵に利用	趣味	羽子板	面白い
古名刺を人名簿や抽出斗名札に	古名刺を人名簿を書き足すときや、小物箆笥や仕籠の抽出名札に利用	代用・合理的	名簿・名札	能率的
古空気枕で防水袋	古くなったゴム引の空気枕で旅行用の防水袋に考案	代用・合理的	防水袋	重宝
古空気枕で上靴入れ	模様物の古空気枕で上靴入れを考案	代用	上靴入れ	丈夫・優美
古空気枕で手提袋	古空気枕をファスナー付きの手提袋に考案	代用	手提袋	重宝・お洒落
古空気枕で写真現像の皿敷	古空気枕や雨合羽などのゴム引きのものを写真現像の皿敷に利用	合理的・代用	写真現像の皿敷	合理的
古空気枕で炊事前掛	古空気枕に紐をつけて炊事前掛に考案	合理的・代用	炊事前掛	体裁よい・重宝
古水枕で湯タンポのバックング	古水枕を朽ちてきた湯タンポのバックングに利用	代用	湯タンポのバックング	合理的
古水枕で硝子拭	古水枕を硝子拭きに利用	代用	硝子拭き	合理的
古水枕で印台と硯敷	穴があいてしまった古水枕を印を押すときの下敷きや硯の下敷きに利用	代用	印台、硯敷	便利
古水枕で盛夏用枕	穴があいてしまった古水枕に蕎麦殻を入れ盛夏用枕に考案	合理的	枕	快適
古水枕で靴下用の上草履	古水枕と羅紗で靴下用の上草履を考案	代用	草履	便利
古水枕や浮袋で鍋つかみ	古い水枕や浮袋を鍋つかみに考案	代用	鍋つかみ	便利
浮袋で東京風の瓜掛	痛んだ浮袋を瓜掛に考案	代用	瓜掛	重宝
ゴムバンドでゴム用粘着糊	ゴムバンドを揮発油につけ、自転車のパンクの修繕等に利用	合理的・代用	粘着糊	便利
ゴムバンドでゴムテープ代用	ゴムバンドをつないで割烹着の袖口のゴムテープに利用	代用	ゴムテープ	重宝
ゴムバンドで靴下止め	ゴムバンドと古靴下の上部や伸縮のきく布で靴下止を考案	代用	靴下止	結構・便利
古ゴム鞆で椅子の脚被せ	使えなくなったゴム鞆に綿をつめて椅子の脚被せに利用	代用	椅子の脚被せ	重宝
古スポンジの枕で掃除ゴム	古くなったスポンジ枕を掃除ゴムに利用	代用	掃除ゴム	重宝
雨合羽(ゴム引)で便器の下敷	使えなくなった雨合羽の丈夫な部分を使って便器の下敷きに利用	代用	便器の下敷き	重宝
防水マントで鞆と自転車の雨除け	小さくなった防水マントで子どもの鞆を入れる袋に考案	合理的・代用	鞆入れ	重宝
母の空箱で簡易本立	母の空箱を組み合わせて小さな本立てに考案	代用・趣味	本立て	格好よい
母の空箱で小物入れ	母の空箱を組み合わせて小物入れに考案	代用・趣味	小物入れ	お洒落
林檎の空箱で子ども用小物整理棚	林檎の空箱に紙を貼り子ども用の衣類入れに考案	代用・合理的	小物整理棚	便利・お洒落
林檎の空箱で簡易本立	林檎の空箱を飾って重ねて本箱に考案	代用	本箱	立派
蜜柑の空箱で雑誌入れ	林檎の空箱を飾って雑誌入れに考案	合理的・代用	雑誌入れ	便利・お洒落
林檎の空箱で敷布入れ	林檎の空箱を飾って敷布入れに考案	代用	敷布入れ	頃合、便利
蜜柑の空箱で塵取り	蜜柑の空箱に柄をつけて塵取りに考案	代用	塵取り	立派
蜜柑の空箱で子ども用本立て	蜜柑の空箱を二つに切って飾って、子ども用本立てに考案	代用・趣味	本立て	可愛い
果物箱や茶箱で趣味の書棚	いろいろな空箱や木を組み合わせて趣味の書棚に考案	代用・趣味	書棚	
菓子の空箱で趣味の文庫	杉材の菓子箱の蓋に彫刻をして趣味の文庫に考案	代用・趣味	文庫	面白い
菓子の空箱で趣味の硯箱	菓子の空箱に紐をつけて硯箱に考案	代用・趣味	硯箱	面白い・お洒落
菓子の空箱で優美な針箱	菓子の木箱に紙や布を貼って優美な針箱に考案	代用・趣味	針箱	優美・見事
菓子の空箱で便所の紙入れ箱	菓子の空箱に竹の脚をつけて便所の紙入れ箱に考案	代用	紙入れ箱	面白い・気持ちよい
菓子の空箱で蓋で床の花台	菓子の木箱の蓋に黒エナメルを縫塗って床の花台に考案	代用	花台	立派・多用
菓子の空箱で蓋で趣味の絵馬	菓子の空箱の蓋を切って趣味の絵馬に考案	趣味	絵馬	面白い・風流
菓子の空箱で蓋で小黒板	菓子の木箱の蓋を小黒板に考案	代用	黒板	結構
茶箱(茶櫃)で衣類保存箱	空いた茶箱を衣類保存箱に利用	合理的・代用	衣類保存箱	絶好
茶箱(茶櫃)で子ども用衣類整理棚	空いた茶箱にカーテンをつけて子ども用の箆笥を考案	合理的・代用	箆笥	立派・好結果
茶箱(茶櫃)で理想的な米櫃	空いた茶箱を米櫃に利用	合理的・代用	米櫃	重宝
茶箱(茶櫃)で食料品入れ	空いた茶箱を縦にして食料品入れに考案	代用	食料品入れ	重宝
ビールの空箱で洗濯物の整理箱	ビールの空箱に仕切りをつけて洗濯物の整理箱に考案	合理的・代用	洗濯物棚	重宝
ビールの空箱で茶箆笥	ビールの空箱二個と有り合わせの網代と紋竹で茶箆笥を考案	代用	茶箆笥	優雅・便利
海苔やお茶缶の外箱で脱毛入れや糸屑入れ	海苔やお茶の缶の外箱と綿で屑箱に考案	代用	屑箱	体裁よい・重宝
砂糖の空箱を小包用に	砂糖の空箱を遠方へ物を送るときに小包用に利用	合理的・代用	小包箱	丈夫
本の外箱で室内用塵取り	厚手にできている本の外箱を室内用塵取りに考案	代用	塵取り	
本の外箱で受取差や状差	本の外箱で受取差や状差に考案	代用・趣味	状差	体裁よい・豊かに
反物の空箱で半襟箱	反物の空箱を半襟箱に利用	合理的・代用	半襟箱	頃合・優美・豊かに
風呂敷の空箱で上品な手箱	風呂敷の空箱の蓋に彫刻をして上品な手箱に考案	代用・趣味	手箱	上品
靴下の空箱で新聞差	靴下などの上部で細長い箱を新聞差に考案	合理的・代用	新聞差	簡単・綺麗・整頓

琴の空箱で便利な調味棚	不要になった琴の箱の高さを変え調味棚に考案	合理的・代用	調味棚	重宝
古長持で洋服箆笥	古長持を洋服箆笥に考案	合理的・代用	箆笥	立派
古木箱で室内踏台	みかんの空箱と桐箱を集めて室内踏台に考案	合理的・代用	踏台	便利・趣味よい
空箱で戸棚整理棚	空箱を組み合わせて戸棚整理棚に考案	合理的・代用	戸棚の整理箱	合理的
空き小箱で小物入れ	菓子箱や白粉箱を飾って小物入れに考案	趣味	小物入れ	綺麗
折箱を押しもの箱に	汽車弁の折を押しもの箱に利用	合理的・代用	押しもの箱	重宝
折の蓋で鍋おき台	折の蓋を集めて鍋おき台に考案	合理的・代用	鍋おき台	重宝
果物の空籠で子ども用手提籠	林檎の空籠に袋を嵌め込んで子ども用手提籠に考案	代用・趣味	手提籠	引き立つ
果物の空籠で毛糸入れ	白い藤でできた深い果物の空籠を毛糸入れに利用	代用	毛糸入れ	重宝
果物の空籠でスリッパ入れ	果物の空籠をスリッパ入れに利用	合理的	スリッパ入れ	便利
果物の空籠で書斎用屑籠	果物の空籠に生紙を貼り付けて書斎用屑籠に考案	合理的	屑籠	結構、合理的
果物の空籠で炭取籠	握りがよい果物の空籠に紙を貼って炭取籠に考案	代用	炭取籠	風流
果物の空籠で水盤	浅い箱型の果物籠にトタンを貼って水盤に考案	代用	水盤	気に入る
進物用の目籠で団扇入れ	小判型の進物用の目籠で団扇入れを考案	代用	団扇入れ	重宝
詰め合せ籠で小物入れ	缶詰の詰め合せの籠に布を貼って小物入れに考案	代用	小物入れ	体裁よい・整頓
ちまき入竹籠で電燈笠	ちまき入竹籠の身を電燈笠に考案	代用・趣味	電燈笠	立派
ちまき入竹籠で色紙掛	ちまき入竹籠の身を電燈笠に考案	趣味	色紙掛	
松茸の空籠で玩具箱	大き目の松茸の空籠に包装紙などを貼って玩具箱に考案	代用・趣味	玩具箱	面白い・手頃
台所の平沢で菓子皿	古くなった台所の目の細い平丸沢を菓子皿に考案	代用・趣味	菓子皿	雅趣ある
古目沢で果物入れ	古くなった目沢に紙を貼って果物入れに考案	代用	果物入れ	立派
古魚籠で風雅な花挿	古い形の古い魚籠を花挿しに利用	代用	花挿し	風雅
わさび漬の小樽で菓子器	わさび漬や奈良漬の浅い樽を菓子器に考案	代用・趣味	菓子器	風流
奈良漬の小樽を水入れに	奈良漬の小樽を水入れや、水を割るときなどに利用	合理的・代用	水入れ	具合がよい
塩数の子の空樽で洗い桶	塩数の子などの深目の空樽を茶碗などの洗い桶に利用	合理的・代用	洗い桶	合理的
醤油の空樽で野菜床	醤油の空樽の底に穴をあけて植木鉢に利用	代用	植木鉢	手軽・便利
古鍋で簡易蒸器	穴のあいたアルミニウム古鍋を鍋と合わせて蒸器に利用	代用	蒸器	便利
古鍋で目沢代用に	穴のあいたアルミニウムの古小鍋全体に穴をあけて目沢に利用	代用	沢	
古鍋で七輪の更正	穴のあいた古鍋を七輪の更正に利用	合理的・節約	七輪	節約
古割箸で植木鉢カバー	古割箸を集めて植木鉢カバーに考案	代用・趣味	植木鉢カバー	多様・雅味ある
古割箸で植木鉢カバーネクタイ掛	古割箸とリボンや布でネクタイ掛に考案	代用・趣味	ネクタイ掛	重宝
古割箸で海苔巻用簾	長くて太いしっかりした古割箸を糸であんで簾に考案	代用	簾	便利
古割箸を便所掃除に	古割箸と布で便所の掃除道具に考案	代用・合理的	掃除道具	使い捨てできる
竹の割箸で子どものズボン干器	竹の割箸で子どものズボン干器に考案	代用・合理的	干器	効率的・重宝
古餅焼網で下水口ふさぎ	古餅焼網を流れ口につけてつまんだ下水口ふさぎに利用	合理的	下水口ふさぎ	合理的
破れ金網を消炭の乾燥台に	小石を台にした金網を消炭の乾燥台に利用	合理的	乾燥台	効率的・長持ち
古しゃもじで歯ブラシ掛	古しゃもじに鏡をつけ歯ブラシ掛に考案	代用・趣味	歯ブラシ掛	お洒落
ひび入りガラス皿で趣味の灰皿	ひびが入ってしまったお洒落なガラス皿に古切手を貼って灰皿に考案	代用・趣味	灰皿	面白い・舶来品
竹の皮で箸入れ	竹の皮を折って箸入れに考案	代用・合理的	箸入れ	風流・重宝
竹の皮を敷代わりに	竹の皮を裂いて敷代に利用	代用・合理的	敷代	便利
竹の皮で釜敷や鍋敷	竹の皮と針金で釜敷や鍋敷に考案	代用・合理的	鍋敷	丈夫
竹の皮を靴の底敷に	竹の皮を靴の底敷に利用	代用・合理的	靴の底敷	長持ち・快適
竹の皮で下駄の鼻緒	竹の皮を鼻緒のついた下駄の鼻緒の替りに利用	代用・合理的・節約	鼻緒	立派
ビールの口金で手軽な絵具皿	ビールやサイダーの口金のコルクを除いて絵具皿に利用	合理的・節約	絵具皿	便利・経済的
ビールの口金で簡易燭台	ビールの口金で燭台を考案	合理的	燭台	便利・手頃
ビールの口金で靴の泥落とし	ビールの口金を敷き詰めて通用門の入り口の靴の泥落としに考案	合理的	泥落とし	重宝
酒瓶の蓋をゼリー型に	日本酒や洋酒の酒瓶の口のアルミニウムの蓋をゼリー型に利用	代用	ゼリー型	可愛い・喜ばれる
玉子の殻でコーヒーのあく取り	コーヒーの粉に玉子の殻を入れてあく取りに利用	合理的	あく取り	美味しい
玉子の殻で糠味噌の酸味止	酸っぱくなった糠味噌に砕いた玉子の殻を入れて酸味止めに利用	合理的	酸味止	味がよくなる
玉子の殻で即席漏斗	玉子の殻の底に穴をあけ小さい瓶に醤油やソースを移す漏斗に利用	代用・合理的	漏斗	便利
玉子の殻を小苗運びに	二つに割った玉子の殻を小さい苗を運ぶのに利用	合理的・趣味	小苗運び	合理的
玉子の殻を種蒔き用土篩いに	玉子の殻の底に小穴をあけて種蒔きの土篩いに利用	代用	土篩い	具合がよい
玉子の殻を瓶掃除に	割りたての玉子の殻を砕いて細口の瓶や病人用の吸吞の掃除に利用	合理的	瓶掃除	きれいになる
玉子の殻を床の艶出しに	玉子の殻をバケツの水の中に入れて床の艶出しに利用	合理的	艶出し	艶が出る
玉子の殻を絹物の洗濯に	古手拭の袋と玉子の殻で絹物洗濯に利用	合理的	洗濯	傷まない・艶が出る
玉子の殻を焚物に	溜まった玉子の殻を紙袋に包んで焚物に利用	合理的	焚物	合理的
鮑の殻をコキールの器に	鮑の殻をコキールの器に利用	代用	器	おいしい
蛤の殻を五目ずしの器に	大きくて形のよい蛤の殻を五目ずしの器に利用	代用	器	喜ばれる
菜類の結び藁で苗床被い	菜類を束ねてある藁を草花の種を蒔くときの被いに利用	代用・合理的	苗床被い	重宝
納豆の藁でたわし	納豆の藁とをたわしに利用	代用	たわし	
夏蜜柑の皮でシロップ	粉にした柑橘類の皮をシロップに考案	趣味	シロップ	風味よい・おいしい
夏蜜柑の皮で唐辛子入薬味	粉にした柑橘類の皮と赤唐辛子を混ぜて薬味に考案	趣味	薬味	風味良い・乙な味
夏蜜柑の皮を芥子煮に	夏蜜柑の皮を芥子煮に考案	趣味	芥子煮	おいしい
夏蜜柑の皮でマーメレード	夏蜜柑の皮を砂糖で煮詰めてマーメレードに考案	趣味	マーメレード	風味よい
夏蜜柑の皮で趣味の花瓶敷	夏蜜柑の皮を趣味の花瓶敷きに考案	趣味	花瓶敷	雅味ある
蜜柑の皮を嗜好料に	蜜柑の皮を粉にして味噌汁やおすましに降りかける嗜好料に利用	趣味	嗜好料	風味よい
蜜柑の皮で食卓の友	蜜柑の皮を粉にしてご飯にかける食卓の友に利用	趣味	食卓の友	風味よい
蜜柑の皮を砂糖漬けに	蜜柑の皮で砂糖漬けを考案	趣味	砂糖漬け	立派
蜜柑の皮をジャムに	蜜柑の皮でジャムを考案	趣味	ジャム	美味しい
蜜柑の皮で練り味噌	蜜柑の皮で味噌に加えて練り味噌を考案	趣味	練り味噌	美味しい・風味よい
蜜柑の皮をトンカツのころもに	蜜柑の皮を刻んでメリケン粉にまぜてトンカツのころもに利用	代用・趣味	ころも	風味よい・おいしい
蜜柑の皮を洗濯に	干した蜜柑の皮を洗濯に利用	合理的・節約	洗濯	経済・安心・きれい
蜜柑の皮を髪洗いに	蜜柑の皮の煮出し汁を石鹸と混ぜて髪洗いに利用	合理的	髪洗い	合理的・気持ちよい
橙の皮を佃煮に	橙の皮を砂糖と醤油で煮詰めてお茶漬けのおかずの考案	趣味	佃煮	食が進む
橙の皮を糠味噌漬に	橙の皮を糠味噌漬に考案	趣味	糠味噌漬	食が進む
ネーグルの皮を黒砂糖入り佃煮に	ネーグルの皮を醤油と黒砂糖で煮詰めて佃煮に考案	趣味	佃煮	重宝
バナナの皮をジャムに	バナナの皮に砂糖を加えて煮詰めてジャムに考案	趣味	ジャム	美味しい・安心
林檎の皮で水シロップ	林檎の皮や心で水シロップに考案	趣味	水シロップ	風味よい
林檎の皮と心でゼリー	林檎の皮や心でゼリーに考案	趣味	ゼリー	あっさり・夏向き
柿の皮を沢庵漬に	柿の皮をよく干して沢庵漬に利用	趣味・合理的	沢庵漬	おいしいくなる
柿や栗の皮で洗取り	柿の皮や栗の甘皮の渋を利用	代用・合理的	洗取り	多様
桃の種で趣味の帯止	桃の種を整えて好みの紐を通して趣味の帯止に考案	趣味	帯止	美術的
果物屑や野菜屑で風呂用薬湯	野菜屑や果物屑を布袋に入れ薬湯に利用	趣味・合理的	薬湯	温まる・しっとりする
古い果物をジャムに	傷んだ林檎やいちじくをジャムに考案	趣味	ジャム	美味しい
落の葉を佃煮に	落の葉を醤油と砂糖で煮詰めて佃煮に考案	趣味	佃煮	食が進む・結構
牛蒡の葉を佃煮に	牛蒡の葉を醤油と砂糖で煮詰めて佃煮に考案	趣味	佃煮	美味しい
人参の葉で胡麻よごし	人参の葉を湯がいて胡麻よごしに利用	趣味	胡麻よごし	風味がある・美味しい
大根の葉を佃煮や漬物に	大根の葉を刻んで炒め、佃煮や漬物に利用	趣味	佃煮・漬物	美味しい
大根の干葉をお惣菜に	大根の葉を茹でてよく干し、色々なお惣菜に利用	趣味	お惣菜	多様
大根や菜の屑を掃除用に	大根葉や菜葉の屑を細かく刻んで掃除に利用	合理的	掃除	きれいになる
キャベツの心を煮込物に	キャベツの心を細かく刻んで煮込み物に利用	趣味・合理的	煮込物	美味しくなる
筍の皮で旨煮や酢の物	茹でた筍の皮を細かく刻んで旨煮や酢の物に考案	趣味	旨煮・酢の物	美味しい
南瓜や西瓜の種で滋養飲料	南瓜や西瓜の種を細かく挽いて湯と砂糖を加え滋養飲料に考案	代用・合理的	滋養飲料	滋養ある・香ばしい
南瓜や西瓜の種を胡麻代用に	南瓜や西瓜の種をすりつぶして炒り胡麻に考案	代用	胡麻	

胡瓜の皮を佃煮に	胡瓜の皮を醬油で煮込んで佃煮に考案	趣味	佃煮	風味よい・大好物
茄子の帯を煮物に	茄子の帯の硬いところを煮物に利用	趣味・合理的	煮物	合理的・美味しい
凍った馬鈴薯で片栗粉	凍ってしまった馬鈴薯から澱粉を取り片栗粉に考案	代用・合理的	片栗粉	合理的・結構
馬鈴薯の皮で片栗粉	馬鈴薯の皮から澱粉を取り片栗粉に考案	代用	片栗粉	
椎茸の軸を煮出汁代わりに	椎茸の軸を刻んで水煮りにして漉し取り煮出し汁に考案	代用	煮出し汁	お精進のいい
野菜の茹汁をスープに	馬鈴薯や人参の茹汁をスープや味噌汁に利用	合理的	スープ	栄養価が増す
おろしの残りを糠味噌に	大根やわかびを卸して残ったものを糠味噌に利用	趣味	糠味噌漬	美味しい
根三つ葉を炒め煮に	根三つ葉を炒め煮に利用	趣味	炒め煮	気が利いた
根三つ葉の根の上手な利用法	三つ葉の根を植えて青味に考案	合理的・趣味	青味	重宝
残り紫蘇の上手な利用法	紫蘇の残りを庭に植え胡瓜のみなどに利用	合理的・趣味	きゅうりもみ	重宝
鱈や鯖の頭を鰹節代用に	鱈や鯖の頭を大根や小松菜を煮るときの鰹節の代わりに利用	代用	鰹節	結構
鮭の頭で酒の肴	塩鮭の頭の軟骨を酢につけて水頭鮭という酢の物に考案	趣味	水頭鮭	酒の肴・美味しい
魚の骨で食卓の友	食べ残した魚の骨をすりつぶし味をつけ食卓の友に考案	合理的・趣味	食卓の友	美味しい・カルシウム
魚の頭や骨で糠味噌の味付け	鮭の頭や魚の骨を糠味噌の味付けに利用	合理的	糠味噌の味付け	味を引き立たせる
魚の骨を揚物に	魚の骨を揚物に考案	趣味	揚物	美味しい
鰹の尾で優雅な小楊枝魚の骨でスープ	鰹の尾を茹で干してほくして爪楊枝に考案	趣味	爪楊枝	象牙細工のよう・綺麗
魚の骨でスープ	魚の骨と野菜屑でスープに考案	趣味	スープ	新しい味
凍り御飯で軟らかあられ	凍ってしまった御飯で軟らかあられを考案	趣味	あられ	軟らかい・おいしい
古いご飯を麴代用に	傷んだ御飯を塩漬けにし胡瓜や大根を漬け麴の代わりに利用	代用	麴	
古パンでお八つ	硬くなってしまったパンを油であけてお八つに考案	趣味	お八つ	美味しい
食パン屑でパン粉	食パンを切る時に出来る屑や耳や食べ残りをパン粉に利用	代用	パン粉	美味しい
食パン屑で洋傘の汚れ取り	食パン屑を薄黒くなった洋傘の汚れ取りに利用	合理的	汚れ取り	きれいになる
だし殻の昆布でお茶漬の友	煮出し汁を取った残りの昆布を糠味噌に漬けてお茶漬の友に考案	趣味	お茶漬の友	美味しい
だし殻の昆布を味噌漬に	煮出し汁を引いた昆布を味噌漬に利用	趣味	味噌漬	歯切れよい・食が進む
だし殻の昆布を佃煮に	煮出し汁を取った昆布を甘辛く煮て佃煮に考案	趣味	佃煮	食が進む
そばやうどんの茹汁を髪洗いに	そばやうどんの茹汁を髪洗いに利用	合理的	髪洗い	きれいなる・傷まない
腐敗した牛乳で廊下の艶出し	腐敗した牛乳を雑巾に染み込ませて廊下の艶出しに利用	合理的	艶出し	艶々になる
残りのビールを食器洗いや洗濯に	ビールの飲み残りを食器や硝子器洗いや洗濯水や盆栽の肥料や糠味噌の味付けに利用	合理的	食器洗い・洗濯・肥料・糠味噌	合理的・多様
茶殻で培養土	庭の隅に穴を掘って茶殻が出るたびに捨て、草花を植えるときの培養土に利用	代用	培養土	手軽
茶殻で湿気や臭気止	乾燥した茶殻を燻して、梅雨時の戸棚の湿気や臭気止に利用	合理的	湿気・臭気止	合理的
茶殻を器物保存に	大切な茶器や硝子器をしまうとき、箱の隅に茶殻を詰めて器物保存に考案	合理的	器物保存	非常によい
茶殻で蚊遣り	よく乾燥した茶殻を緑先などで燻して夏の夜の蚊遣りに考案	代用	蚊遣	
紅茶の出し殻で美しい染物	紅茶の出し殻と玉ねぎを使って美しい染物に利用	趣味	染物	美しい
婦人用古靴下でぬいぐるみ人形	古くなった婦人用絹靴下をぬいぐるみ人形に考案	趣味	人形	面白い・安全・長持ち
婦人用古靴下で洋服のベルト	穿けなくなった絹靴下を三つ組みにし巻き洋服ベルトに考案	代用・趣味	ベルト	面白い・洒落た
婦人用古靴下で乳カヴァー	婦人用古絹靴下を乳カヴァーに考案	代用	乳カヴァー	
婦人用古靴下でストッキング	そうひどく痛んでいない古絹靴下とゴムとテープでストッキングを考案	代用・合理的	ストッキング	寒さ知らず
婦人用古靴下で壁掛や敷物	破れた靴下をで紐を作り粗い麻布にぬいこみ壁掛や敷物に考案	趣味	壁掛・敷物	楽しみ・立派
女学生用古靴下で締め易い紐	女学生用古靴下を筒状に縫って締め易い紐に利用	代用・合理的	紐	多様・具合がよい
女学生用古靴下でバスマット	女学生時代の古靴下を紐にし編んでバスマットに考案	代用・合理的	バスマット	合理的・体裁よい・重宝
女学生用古靴下で便利な手甲	お古の靴下の先を切ってゴムをつけて手甲を考案	代用・節約	手甲	節約・喜ばれる
女学生用古靴下で丈夫な脚絆	継のできないほどの古靴下の先を切って上下に紐をつけ脚絆に考案	代用・節約	脚絆	節約・温かい
女学生用古靴下で蟲干の綱	女学生用の古靴下を切り三つ組にして蟲干の綱に利用	代用・合理的	綱	丈夫・重宝
女学生用古靴下で普段用帯揚	女学生用の古長靴下の先を切ってつなぎ合わせ帯揚に考案	代用	帯揚	締め心地がよい
男物古靴下で子どもの海水着	男物の古靴下の使えるところを擦ぎ合わせ子ども着に考案	代用・趣味	海水着	可愛い・丹精・楽しみ
男物古靴下で下着の袖口	本毛の古靴下の先を切り落とし下着の袖口に考案	代用・節約	下着の袖口	簡単・具合がよい・節約
男物古靴下で羽織下	傷んだ靴下の先を切り落とししたものを溜めておいたもので羽織下を考案	代用・合理的	羽織下	軽い・温かい・簡単
男物古靴下で椅子蒲団	底に穴があいてしまった古靴下を溜めておいたもので夏の椅子蒲団を考案	代用・趣味	椅子蒲団	
男物古靴下で子ども用ソックス	男物の古靴下を子どもの大きさにして子ども用ソックスに考案	代用・趣味	靴下	
男物古靴下で赤坊用ソックス	男物の古靴下を赤坊用のソックスに考案	代用・合理的・節約	靴下	節約・可愛い・合理的
古靴下で繕い糸	古靴下の糸を解いて合わせ、靴下の繕い糸や仕立物のしつけ糸に利用	代用	糸	惜し気なく使える・重宝
古靴下で毛糸網に再生	古靴下を解いて毛糸編みの再生に利用	代用・合理的	毛糸	丈夫・長持ち・きれいな
古靴下で袖口や裾口	絹や毛の靴下のよいところでシャツの袖口や股引の裾口に利用	代用・合理的	袖口・裾口	合理的
古靴下を靴下の繕い布に	古靴下を靴下の繕い布に利用	合理的	繕い布	合理的
古靴下で靴の保存袋	使えなくなった靴下を袋に縫って靴の保存袋に利用	合理的	保存袋	合理的
古ネクタイで婦人用バンド	古ネクタイを切って飾って婦人用バンドに考案	代用・趣味	バンド	優美・垢抜ける
古ネクタイで座蒲団	溜まった古ネクタイをモスの古布の上に並べて座蒲団に考案	代用・趣味	座蒲団	見事
古ネクタイで物差入れ	色の派手になったレースの古ネクタイで物差入れを考案	代用・合理的	物差入れ	重宝
古ネクタイでハンドバックの更生	擦り切れた古ネクタイを古くなったハンドバックの更生に利用	合理的・節約	ハンドバックの更生	見事・節約
古ネクタイで洋傘袋	古ネクタイ二本で洋傘袋を考案	代用	洋傘袋	上品
古半襟で赤ちゃん蒲団	派手になった半襟や、褪せて色揚げた半襟を配合よく剥ぎ合わせて赤ちゃん蒲団を考案	代用	蒲団	
古半襟で上品な帯締め	藤色の古半襟に金色の紺紐をあしらって上品な帯締めめに考案	代用・趣味	帯締め	上品
古半襟で締めよい腰紐	たてしほの古半襟とさらしで締めよい腰紐に考案	合理的	腰紐	締めよい・合理的
古半襟で羽織下帯	昔流行した刺繍の古半襟と古い帯締で羽織下帯に考案	代用・趣味	羽織下帯	お洒落
古半襟でクッション	昔流行した濃い地色の半襟を配合よく組み合わせてクッションを考案	代用・趣味	クッション	立派
古半襟を縷子帯の布置刺繍に	古半襟の色彩のよいものを使って布置刺繍に考案	趣味	縷子帯の布置刺繍	趣味よい・重宝
古半襟を帯の再生に	締められなくなった紺博多の単帯を古半襟で再生	合理的・節約	帯の再生	趣が変わる・節約
古ワイシャツで子どもの食事前掛	古ワイシャツを子どもの食事前掛に考案	代用	食事前掛	
古ワイシャツで食卓用ナフキン	古ワイシャツのいいところを取り食卓用のナフキンに考案	代用・趣味	ナフキン	気が利いた
古ワイシャツでエプロン	古ワイシャツで洋服のエプロンを考案	代用・趣味	エプロン	軽快
古ワイシャツでエプロンと枕カヴァー	衿や袖口の切れたワイシャツをエプロンと枕カヴァーに考案	代用	エプロン・枕カヴァー	
古ワイシャツでカーテン	古ワイシャツを利用して小窓のカーテンに考案	代用・趣味	カーテン	お洒落
古ワイシャツで髪結肩掛	古ワイシャツを髪結肩掛に考案	代用	髪結肩掛	重宝
古ワイシャツで洋服カヴァー	古ワイシャツを洋服カヴァーに考案	代用	洋服カヴァー	重宝
古カラーを帽子の調節に	古カラーを子どもたちに大きめの帽子を買ったときの調節に利用	合理的	帽子の調節	便利
古ワイシャツで鍋つかみ	古ワイシャツの袖口を鍋つかみに考案	代用・合理的	鍋つかみ	便利
古カラーで荷札や整理札	古カラーと紐で荷札や戸棚の整理札に考案	代用・合理的	荷札・整理札	便利
古カラーで湯殿の足拭き	子ども用の古カラーを組んで湯殿の足拭きに考案	代用・合理的	足拭き	合理的
古カラーを革代用の把手に	古カラーを好みの形に切って手製の箱や抽斗の把手の皮代用	代用	革代用の把手	重宝
古シャツでペビー服	肘の抜けた古シャツで赤ん坊の洋服に考案	代用・合理的	ペビー服	可愛い・立派・合理的
古シャツで男子用パンツ	肘や脇下の傷んだ古シャツで男子用パンツに考案	代用	パンツ	穿き心地がよい
古シャツでおむつカヴァー	着られなくなった古シャツでオムツカヴァーを考案	代用・合理的	おむつカヴァー	合理的・節約
古シャツで家庭用足袋	古シャツで家庭用足袋を考案	代用・合理的	足袋	温かい・穿き心地がよい
古シャツでナフタリン人形	男の子の古スポーツシャツの裾の方の目の粗いところを使ってナフタリン人形を考案	代用・趣味	ナフタリン人形	ユーモアある
古ズボンで子ども股引	古ラグダのズボン下の丈夫なところを使って子どもの股引に考案	代用	股引	簡単
古毛布で防寒用ショール	擦り切れた古毛布の周りの丈夫な部分を防寒用のショールに考案	趣味	ショール	お洒落
古毛布でお櫃袋	使えなくなった古毛布の地のしっかりしたところを取ってお櫃袋に考案	代用・合理的	お櫃袋	合理的
古毛布で寝冷知らず	破れた古毛布の地のしっかりしたところを寝冷知らずを考案	代用	寝冷知らず	便利
古毛布を綿代りに	擦り切れた古毛布を夏の掛布団の綿代りに利用	代用	綿	便利・掛け具合がよい
古毛布や古毛糸で綿代用品	古毛布や古毛糸のぼろぼろになったものを刻んで布団の綿代りに利用	代用・合理的	綿	合理的
古敷布で火鉢敷	擦り切れた古敷布を綿にして火鉢敷に考案	代用・趣味	火鉢敷	趣がある
古敷布で便所の手拭き	擦り切れた古敷布の破れていないところで便所の手拭きを考案	代用・合理的	手拭き	気持ちよい
古敷布で洋服カヴァー	破れた古敷布を洋服カヴァーに考案	代用	洋服カヴァー	便利

セルの古着で炬燵蒲団	着られなくなったセルの着物を染めて布置刺繍をして炬燵蒲団に考案	代用・趣味	炬燵蒲団	立派
四つ見紋付の袖を茶室の戸張に	子どもの祝いの紋付の袖を茶室の観音開きの戸張に利用	代用・趣味	戸張	引き立つ
晒布襦袢で衛生的な包帯	古い晒布襦袢のよいところを使って家庭用包帯に考案	代用・節約	包帯	節約
黒い事務服で遮光カヴァー	古くなった黒い事務服で電燈の遮光カヴァーに考案	代用・合理的	遮光カヴァー	重宝
木綿緋の古着でテーブル掛	子どもの木綿緋の古着でテーブル掛を考案	代用・趣味	テーブル掛	
ビーロッドの古足袋で子どもの椅子蒲団	底が破れたビーロッドの古足袋の丈夫なところで椅子蒲団を考案	代用・合理的	椅子蒲団	立派・丈夫
入筥の祝い旗を蒲団皮に	入筥の祝い旗を染めて蒲団皮に利用	趣味	蒲団皮	有意義
古蚊帳で丈夫な包紙	破れた古蚊帳と包装紙で丈夫な包紙に考案	代用・合理的	包紙	丈夫
古蚊帳を窓の金網代りに	破れて繕いきれない古蚊帳を窓の金網代りに利用	代用・合理的	金網	合理的
古蚊帳を食卓カヴァーに	不用になった古蚊帳を漂白し飾って食卓カヴァーに考案	代用・合理的	食卓カヴァー	合理的
洋服の残り小布でカバー類	洋服の残り小布を千鳥がけでつなぎ合せ布置刺繍をしてカヴァー類に利用	代用・趣味	カヴァー類	趣味・多様
洋服の古布で携帯用靴拭き	ビーロッドや羅紗の洋服の残り布や古布で携帯用靴拭きを考案	代用	靴拭き	綺麗
洋服の古布で動物玩具	赤坊の古洋服や大人の洋服の残り布で動物のぬいぐるみを考案	趣味	ぬいぐるみ	
綿や緋の古布で椅子カヴァー	お召し、銘仙、久留米緋のような綿や緋の古布を生かして椅子カヴァーに考案	代用・合理的	椅子カヴァー	重宝
縮緬の古布を裂地の額に	古代模様様の古い縮緬などを裂地の額に利用	趣味	額	美術的
メリンスの襦袢布で座蒲団代り	メリンスの破れたものを座蒲団代りの敷物に考案	代用・趣味	座蒲団	お洒落
メリンスの襦袢布で使いやすいはたき	メリンスではたきを考案	代用・合理的	はたき	捌きが良い
裁ち屑を貼絵に	接ぎ合せもできない小さな裁ち屑を貼り絵に利用	趣味	貼り絵	面白い・美術的
裁ち屑で斜布を	キャラコや富士絹の裁ち屑などをつないで斜布に考案	代用・合理的	斜布	便利
残り小布で羽織の紐	残り小布を羽織紐に考案	代用	羽織の紐	役立つ
襦袢布で八畳敷絨毯	襦袢布を三つ組みにして巻いて八畳絨毯に考案	代用・趣味	絨毯	綺麗
残り小布で薔薇模様様の蒲団皮	小布を配色よく薔薇模様様に接ぎ合せ掛け蒲団やクッションに利用	趣味	薔薇模様様の布	面白い・綺麗
小布や襦袢布で使いやすい雑巾	小布や襦袢布と古手拭で雑巾に考案	代用・合理的	雑巾	使いやすい
古帯締をカーテン押えに	古帯締を二つ切りにしてカーテン押えに考案	代用・合理的	カーテン押え	便利
古帯締をしつけ糸その他に	帯締の汚くなったものをほくしてしつけ糸や糸織の横糸やレース糸に利用	代用・合理的	しつけ糸・横糸・レース糸	味がある・立派
古帯締で帽子や洋服飾り	色の褪せた古帯締で洋服や帽子の飾りに考案	趣味	帽子や洋服飾り	綺麗
男物羽織の古紐をカーテンの絞りに	大きな男物の羽織の古紐をカーテンの絞りに利用	代用・合理的	カーテンの絞り紐	便利
包み紐で屑入れ箱	して紐を丸い箱にはりつけて美しい屑入れ箱に考案	代用・趣味	屑入れ箱	美しい
包み紐を雑巾刺しの糸に	して紐で丈夫な糸を作り雑巾刺しの糸に利用	代用・合理的	雑巾刺しの糸	丈夫
包み紐で趣味の敷物	たまった包み紐と母などの箱で趣味の敷物を考案	趣味	敷物	面白い
麻の包み紐で花瓶敷	小包に使ってある麻の細紐を組んだり編んだりして花瓶敷に考案	趣味	花瓶敷	味がある
細引紐の古で草履の底裏	傷んだ細引を三つ組にして草履の底裏に利用	合理的	草履の底裏	丈夫・長持ち
金銀の水引をして紐代りに	金銀の水引をつないでして紐に利用	代用・合理的	して紐	丈夫・重宝・体裁よい
古毛糸で毛布代り	古毛糸と太毛糸を合せて毛布に考案	代用・合理的	毛布	合理的・長持ち・綺麗
古毛糸で靴下カヴァー	古毛糸を二三本どりにして靴下カヴァーに考案	代用・合理的	靴下カヴァー	重宝・長持ち
毛糸屑でチョッキや胴着	よくほぐしてためておいた毛糸屑をチョッキや胴着の綿に利用	代用	チョッキ・胴着	
毛糸屑で温かい羽織下	全体が弱い破れたセーターなどをほくしたときに出了毛糸屑で羽織下に利用	代用・合理的・節約	羽織下	合理的・節約・お洒落
琴糸の屑で網織物	琴糸の屑を集めて網織物を考案	趣味	網織物	立派
抜き糸を雑巾の刺し糸に	解き物うしいしたときの抜き糸を取っておいて雑巾の刺し糸に利用	代用	刺し糸	重宝
反物の節糸で羽織紐	反物についている美しい絹の節糸を羽織紐に利用	代用・趣味	羽織紐	美しい
帯心裁落し布で細引紐	帯を作るときに出る耳の裁ち落し布を三つ組にして細引紐に利用	代用・合理的	細引紐	便利
帯心と反物包み布でテーブルセンター	帯心の残り布に反物の青い包み布を市松模様様に縫いつけてテーブルセンターに考案	代用・趣味	テーブルセンター	
反物の包み布でピクニックの敷物	反物の包み布を広く接ぎ合せてピクニックの敷物に考案	代用・合理的	敷物	軽い・重宝
反物の包み布で大風呂敷	反物を包んである青や黄色の切れを接ぎ合せて大風呂敷に考案	代用	風呂敷	重宝
反物の包み布で草履袋と筆入れ	反物の包み布で草履袋や筆入れに考案	代用・趣味	草履袋・筆入れ	
反物の包み布で紙屑入れ	反物の包み布を五枚集めて紙屑入れに考案	代用・合理的	紙屑入れ	丈夫
反物の巻棒で貯金箱	反物の巻棒に横穴をあけて貯金箱に考案	趣味・節約	貯金箱	節約・面白い
反物の巻棒で編棒針入れ	反物の巻棒で編棒針入れに考案	合理的	編棒針入れ	便利
反物の巻棒で小学生の紙入れ筒	筒になっているボール紙の巻棒で小学生の紙入れ筒に考案	合理的	紙入れ筒	重宝
反物の巻棒で折針入れ	反物の巻棒の小さい穴をあけて折針入れに考案	合理的	折針入れ	合理的
反物の巻棒を地押し棒に	反物の巻棒を仕立物をする前の地押し棒や夏の単衣帯の皺伸ばしに利用	代用・合理的	地押し棒	具合が良い
反物の値段札で丈夫な指貫	反物についている値段札と小布で指貫に考案	代用・合理的	指貫	丈夫
メリケン粉袋で巾着や風呂敷	メリケン粉袋をつなぎ合わせて大きな風呂敷に考案	代用	風呂敷	重宝
メリケン粉袋で子ども用椅子蒲団	丈夫なメリケン粉袋で座蒲団を考案	代用・合理的・趣味	座蒲団	丈夫・合理的・可愛い
メリケン粉袋で蒲団皮	メリケン粉袋を絞りに染めて蒲団皮に利用	代用・合理的	蒲団皮	気がきく・丈夫・心地よい
ふすま袋で蒲団の裏皮	ふすま袋を染めて蒲団の裏皮や野良着のシャツや襦袢などに利用	合理的	蒲団の裏皮	しなやか・心地よい
網の菓子袋をナフタリン入れに	お菓子の入っている白い糸の網袋をナフタリン入れに利用	代用・合理的	ナフタリン入れ	重宝
菓子袋を炭団つかみに	ハトロン紙で作った丈夫な袋を炭団つかみに利用	代用・合理的	炭団つかみ	便利・長持ち
茶袋を金具入れに	茶袋をナイフ・フォークなどの細長い金具入れに利用	合理的	金具入れ	錆びない
煙草の銀紙で陶器の破損を修繕	煙草の銀紙を陶器の破損修繕に利用	合理的	陶器の修繕	合理的
煙草の銀紙で塗盆の修繕	煙草の銀紙で塗盆の修繕に利用	合理的・趣味	塗盆の修繕	合理的・面白い
煙草の銀紙を襦袢の腰張の砂子に	煙草の銀紙を襦袢の腰張の砂子に利用	合理的・趣味	襦袢の腰張の砂子	合理的・上品
煙草の包み紙を防虫剤代りに	刻み煙草の包み紙をよくはたいて毛織物や木の間に挟んで防虫剤に利用	代用	防虫剤	立派
煙草の心紙で玄關用はたき	パッドなどの銀紙の内側の白い心紙ではたきを考案	代用・合理的	はたき	上品・便利
両切煙草の吸口を蠟燭代りに	パッドやホープの吸い口を蠟燭代りに利用	代用	蠟燭	重宝
煙草の吸殻をナフタリン代りに	巻煙草の吸殻の粉をナフタリンの代りに利用	代用	ナフタリン	重宝
煙草の吸殻を駆虫剤に	煙草の吸殻を取っておき駆虫剤に考案	代用・合理的	駆虫剤	とてもよい
煙草の空箱で美術小物入れ	パッドの空箱を六個に切り込みを入れ差し込んで小物入れに考案	趣味	小物入れ	可愛い・美術的
煙草の空箱で小物入れ	光・パッド、ホープなどの空箱を切手や印鑑などの小物入れに考案	代用・合理的	小物入れ	便利
蓄音機のコピー針で生花用の剣山	蓄音機のコピー針と粉白粉の空箱とセメントで生花用の剣山を考案	代用	剣山	結構
蓄音機のコピー針で魚の鱗引き	蒲鉾板に蓄音機のコピー針を打ちつけて魚の鱗引きに考案	代用	魚の鱗引き	便利
蓄音機のコピー針で習字用文鎮	蓄音機のコピー針とマッチ箱で習字用文鎮に考案	代用・趣味	文鎮	可愛い
蓄音機のコピー針で小物入れ	蓄音機のコピー針を小物入れやお弁当に添える塩入れに利用	代用	小物入れ	具合が良い
蓄音機のコピー針を登山用マッチ入れに	蓄音機のコピー針の裏にマッチ箱の発火紙を貼って登山用マッチ入れに考案	合理的	マッチ入れ	重宝
古バケツで簡易籠	古くなって穴のあいたバケツの下の方に穴をあけて簡易籠に考案	代用	簡易籠	手軽・具合が良い
安全剃刀の刃で簡易ナイフ	切れなくなった安全剃刀の刃と黒のブリキで簡易ナイフに考案	代用	簡易ナイフ	安全
荷札の針金を修繕用に	紐に絡んでしまった荷札の針金を伸ばして修繕用の針金に利用	代用・節約	針金	節約
ミシンの糸巻でベン置	ミシン糸巻を縦二つに割ってベン置きに考案	合理的	ベン置き	合理的
桶のたがで風雅な色紙掛	古桶のたがで風雅な色紙掛けに考案	趣味	色紙掛	風雅
古筆の柄をカーテンの横棒と環に	ひどい雑巾になって使えなくなった筆の柄をカーテンの真鍮の横棒と環に利用	代用・趣味	カーテンの横棒と環	引き立つ
筆の軸で釘被せ	穂先の抜けてしまった筆の軸を釘被せに利用	代用・合理的	釘被せ	体裁よい・重宝
ミシンの糸巻で帽子掛	ミシンの糸巻を五六個集めて帽子掛けに利用	代用	帽子掛け	体裁よい
蒲鉾板を荷札に	蒲鉾板を遠方に送るもの荷札に利用	代用・合理的	荷札	丈夫・安心
萩の枯枝で風雅な色紙掛	庭の萩の枯枝で色紙掛を考案	趣味	色紙掛	風雅・自慢
革手袋の古で洋服や帽子の飾り花	片方失くしたり指先がなくなった革手袋で飾花を考案	趣味	飾花	気が利いた
朽木で風流な植木鉢	朽木の程よく穴のあいたものを植木鉢に考案	趣味	植木鉢	風流
革バンドの古を指貫に	洋服の革バンドや時計の革紐の古くなったもので指貫を考案	代用	指貫	重宝
ひび入り水瓶を火鉢に	ひびが入って使えなくなった水瓶を火鉢に考案	代用・趣味	火鉢	評判が良い
乾電池の廃物で鉛筆代用品	乾電池ランプに使った電池の廃物を焼いて亜鉛棒を取り出し鉛筆の代わりに利用	代用	鉛筆	重宝

## 7. おわりに

本研究は、昭和13年7月に発行された、雑誌『主婦の友』の附録『主婦の友—廃物利用五百種—』を通して、太平洋戦争に向かう緊迫化した統制下での一般の家庭生活像、主婦像を明らかにしようと試みたものである。

この当時の雑誌『主婦の友』の特色としては、一般家庭の主婦を対象に、①統制下の時代が理想とした家庭生活像、②統制下における主婦の心構え、③統制下における子育て論、④統制下における主婦に求められる家庭運営能力に関する記事が大半を占めるなどの4点が挙げられ、さらに読者の節約生活の智恵など、懸賞募集記事を継続的に掲載し、読者参加型の雑誌を形成していた点も特色として挙げられよう。

この中でも、④統制下における主婦に求められた家庭運営能力に関する記事は多く、以下の4項目に分類することができる。

1. 衣食住に関する「節約」精神の伝授
2. 衣食住に関する「創意・工夫」の薦め
3. 家庭経済の運営能力—経済的知識・利殖・貯蓄
4. 主婦の経済的自立—内職・副業の奨励・賞賛

上記の時代が求めた主婦像は、まさしく国策が反映された銃後の主婦としての理想像であったが、一方で主体的に生活を守り、困窮の中でも安定した生活を創り上げようとする「家庭を守ろうとする主婦」の姿も見られるのである。

このような家庭生活の運営能力の育成、奨励の結果生まれたのが、1938年発行の附録『主婦の友—廃物利用五百種—』であったと、位置づけることができる。

この書は、読者である主婦の節約術・廃物利用の工夫などを集めた投稿集として捉えることができるが、本書に掲載される主婦の創意・工夫からは、この時代の生活に一般主婦が如何に対応し、創造しようとしたかが伺われる。

本稿では、『主婦の友—廃物利用五百種—』発行の時代的背景及びこの書の主婦の生活の智恵の結集である489種の廃物利用の投稿記事の紹介にとどめたが、今後は『主婦の友—廃物利用五百種—』の記事内容について詳細に分析し、当時の主婦の生活の智恵と描いた家庭生活像を明らかにしていきたい。

### 注釈

- 1) 創刊号は大正6年2月14日、3月号として発売される。菊判120頁、定価15銭、発行部数は1万部とされる。(『主婦の友』大正期総目次、頁6参照)
- 2) 『主婦の友』第22巻7号附録 昭和13年7月1日発行
- 3) 『主婦の友』創設者の石川武美が28歳で、同文館書店より独立し、大正5年9月18日に「東京家政研究会」を設立。(『主婦の友』大正期総目次 頁6参照)
- 4) 創刊号から各界の名流婦人の生活に学ぶ啓蒙記事、健康と経済、実用記事など当時の婦人向け雑誌とは異なる分野に着目した。(前掲書頁7参照)
- 5) 石川文化事業財団 お茶の水図書館編 2006年2月14日発行
- 6) 四六判 300頁、定価50銭。物価高騰に対処した73種の家計の実例をあげ検討を加えた内容は、この議題の家庭の要望に応えたもので、数版重ねる売れ行きであった。(前掲書頁7参照)
- 7) 上下2冊、各50銭。各家庭を探訪してまとめた書。(前掲書頁7参照)
- 8) 『主婦の友 大正期総目次』6頁参照
- 9) 『主婦の友』第1巻第1号

10) 前掲書 第1巻第1号

(以下の注釈において雑誌『主婦の友』掲載記事に関しては出版年・巻・号・掲載頁のみ記載し、雑誌名称は省く)

11) 同前掲号 6頁

12) 同前掲号 35頁

13) 『主婦の友—廃物利用五百種』掲載の投稿記事に類似した内容は、雑誌誌上に掲載されるが、掲載済み記事を集めたものか否かの確認はできない。おそらく編集局への投稿記事を集めて一度に掲載したものと思われる。類似案も投稿記事として紹介されていることから、本掲載案は当時の主婦の一般的な創意・工夫であると捉えることができよう。

14) 21巻3号 1937年3月 420頁

15) 21巻4号 1937年4月 406頁

16) 22巻4号 1938年4月 320頁

17) 22巻7号 1938年7月 82頁

18) 22巻7号 1938年7月 436頁

19) 24巻5号 1949年5月 256頁

20) 23巻1号 1939年1月 56頁

21) 20巻11号 1936年11月 306頁

22) 21巻3号 1937年3月 164頁

23) 21巻8号 1937年8月 94頁

24) 21巻10号 1937年10月 88頁

25) 21巻11号 1937年11月 180頁

26) 21巻11号 1937年11月 470頁

27) 21巻12号 1937年12月 244頁

28) 25巻11号 1941年11月 122頁

29) 25巻6号 1941年6月 204頁